

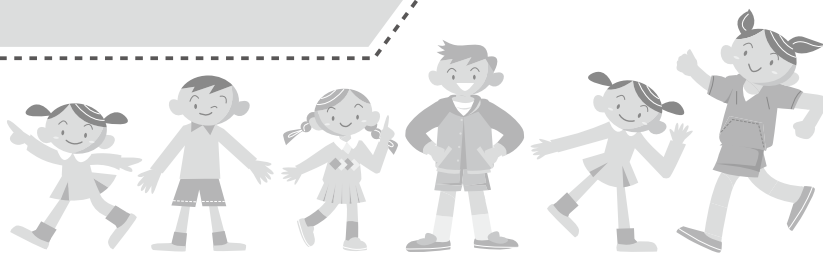
<資料>

<資料>

- 1 かながわの学びづくりプラン…………… 38
- 2 「平成 19 年度全国学力・学習状況調査(神奈川県)の結果と分析、並びに今後の指導への示唆」…………… 76
- 3 平成28年度かながわ学力向上実践推進事業…………… 90
- 4 かながわ元気な学校づくり通信「はにい」…………… 91
- 5 「教室に行こう」…………… 96
- 6 各事業要項等…………… 98
- 7 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業に取り組んだ学校一覧……………102

学校改善支援プラン【教職員向け】

かながわの



学びづくりプラン

～学校・家庭・地域で育てよう子どもたち～

【はじめに】

平成19年4月に実施された全国学力・学習状況調査の神奈川県（横浜市、川崎市を除く）の結果を、神奈川県検証改善委員会が分析し、かながわの子どもたちの学びをより確かなものとするための提言をまとめました。子どもたちの「学ぶ力」を育てるため、学校教育ではどのような工夫・改善が求められるのか、そして、子どもたちの「学ぶ力」の基礎を育てるには、基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化がいかに大切であるかなどが、改めて確認されました。

そこで、子どもたちの「学ぶ力」を育てるため、学習指導の工夫・改善、児童・生徒への指導と家庭・地域との連携、学校運営等に役立つ提言を「かながわの学びづくりプラン」として報告します。

結果分析にあたって

神奈川県検証改善委員会では、神奈川県の結果について、次の3点に焦点を当てて分析を行いました。

- ①教科に関する調査に関して、基礎・基本の定着を意図したA問題、活用を意図したB問題それぞれで、国語、算数・数学において、どのような設問の正答率が低く、今後どのような指導の工夫・改善が求められるか。
- ②質問紙調査に関して、全国の結果を踏まえ、神奈川県の特徴はどのような点にあるのか、今後改善すべき点は何か。
- ③質問紙と学力調査との相関について分析し、家庭での学習において、今後、どのような点で指導することが必要か。

神奈川県検証改善委員会

シンポジウムの開催

提言 かながわの
学びづくりプラン
 ～学校・家庭・地域で育てよう子どもたち～

学校・保護者向けリーフレットの作成・配布

成果の普及

「かながわ学びづくり推進事業」

- ◎かながわ学力向上支援連絡協議会の設置
かながわ学びづくりプランの普及と検証
- ◎かながわ学力向上シンポジウムの開催
学校・家庭・地域の教育力の向上についての意見交換
- ◎かながわ学びづくり推進地域研究委託事業
学力向上に向け家庭と連携・協力した実践研究

>>Check>>Action!

児童・生徒の 授業評価を取り入れた 授業研究の推進

課題は

- ◎どのように授業評価を行うか
- ◎授業評価の結果をどのように
 授業改善等に生かすか

自分の授業を振り返り、改善していくことが肝要です。その際、一つの方策として、児童・生徒の授業評価を取り入れていくことが考えられます。学校質問紙における授業評価の実施と児童・生徒の学力調査との相関関係を分析すると、児童・生徒による授業評価を実施している学校は、実施していない学校より児童・生徒の学力調査の平均正答率が高い傾向が見られました。これまで見えなかった新たな視点を見だし、授業を改善していくことが期待されます。

地域と連携した 指導の充実

一層の推進

学校質問紙における全国の結果と神奈川県の結果を比較分析した際、授業参観に関しては、神奈川県は、計画的に実施する回数は全国より少ないが、いつでも参観できる体制をとっている割合が全国より大きいことが分かります。また、小・中学校とも、地域の人が自由に授業参観できる学校公開日を設定している学校の割合が全国より大きくなっています。

さらに、小・中学校に共通して、ボランティア等による授業サポート（補助）を全国より積極的に行っており、小学校では、地域の人材を外部講師として招聘した授業、博物館や科学館、図書館を利用した授業を積極的に行っています。

今後とも、地域と連携した指導を一層推進し、充実させていくことが期待されます。

各学校では、すでに児童・生徒の実態、地域の実態を踏まえた取組を進めていると思いますが、この度の「全国学力・学習状況調査」の結果からまとめた提言も参考にさせていただき、学習活動をはじめ学校運営の充実に努めていただくことを願っています。

そこで、最後にかえて何点か示唆をして報告を閉じたいと考えます。

☆教育実践の検証改善のためには「**RPDCAサイクル**」が有効だと考えます。

R esearch	調査（学習状況調査など）……………定期的に調査を継続し経年変化を調査
P lan	計画（目標、計画の立案）
D o	実行（教育活動の実践）
C heck	点検（成果と測定の評価）
A ction	改善（必要に応じて修正・補強）

☆学力向上には「知・徳・体」のバランスのよい育成が大切です。

望ましい生活習慣、学習習慣が身に付けられるよう、様々な経験・体験活動の充実が求められます。

☆魅力ある授業づくり、学校づくりのために、学校、児童・生徒、家庭、地域が一体となった取組が重要だと考えます。

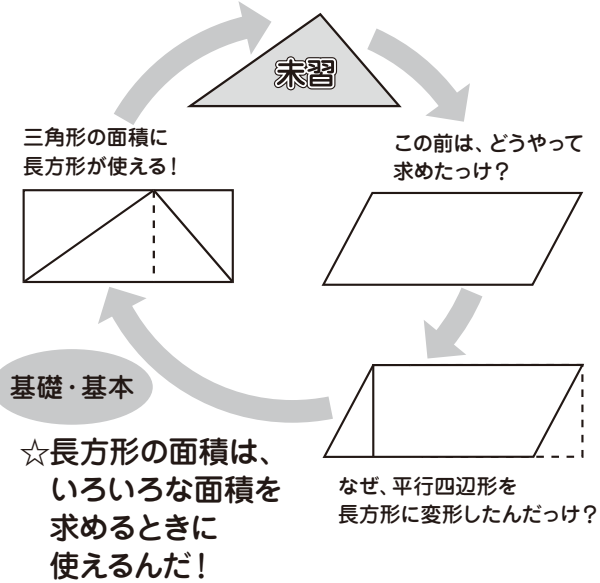
まとめ

指導の工夫・改善のポイント例

基礎・基本の繰り返し

5年生「三角形の面積」

☆どうやったら求まるかな？



授業では…

☆一人ひとりの多様な持ち味が、授業の中で、有効に引き出されることが大切です。

教師が、多様な子どもの考えを、授業の中でうまく組織して、教材の本質に迫れるように計画する。

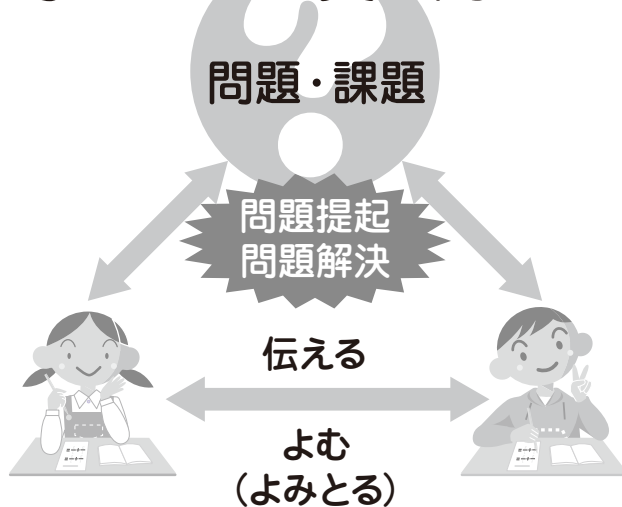
学び合いの質を高める

- ◎分からないことを聞いた子
- ◎本当にそうなるのか問いをもった子
- ◎友達の考えを補足した子
- ◎友達に分かりやすく説明した子
- ◎友達の考えを広げた子

こうした子どもの姿をとらえて生かす



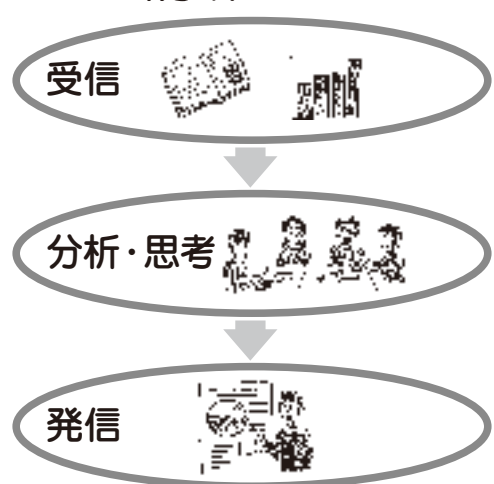
学び合いの質を高める



☆他人(友人や先人)のやったことや考えをよむ

どうやってそのやり方が思いついたか

情報を…



☆プロセスを重視する

文章・図・表・グラフなどのテキストから必要な情報を取り出し、分析し、理由や根拠を考え、調査・研究し、目的や条件に応じて、論理的に考えをまとめ、表現する活動を大切にします。

子どもたちの「学ぶ力」を育てるために

PLAN>>DO!>>

期待される指導や働きかけ



国語

の指導について

- 生活に生きる言語の能力を支える観点を大切にする
- 「話す・聞く」学習を通して、自ら「発信できる」子どもをはぐくむ
- 「書く」学習を通して、自ら「考えて表現できる」子どもをはぐくむ
- 「読む」学習を通して、「論理的に考える」子どもをはぐくむ
- 表現や理解の基礎として、言葉や文字の学習を大切にする
- 自ら情報を活用し、発信できる子どもをはぐくむ

算数・数学

の指導について

- 形式的な知識でなく、知識を獲得するプロセスを大切にする
- 進みながら戻ること、基礎・基本の繰り返し学習を行う
- 学び合いの質を高める工夫を大切にする
- 実生活と関連を図った指導で、考える力に焦点を当てる

児童・生徒

への指導について

家庭への
働きかけについて

- きまりを守ること等の指導の充実を図る
- 望ましい生活習慣を身に付けることの大切さについて指導の充実を図る
- 個に応じた家庭学習の在り方を家庭と連携して検討を行う

学校運営

について

- 教員同士の学び合いに焦点を当てた研修の充実を図る
- 考える力と学び合いを中心に据えた少人数指導の充実を図る
- 児童・生徒の授業評価を取り入れた授業研究を推進させる
- 地域と連携した指導のさらなる充実を図る



かながわの 学びづくり



～学校・家庭・地域で育てよう子どもたち～

平成19年4月に実施された全国学力・学習状況調査の神奈川県（横浜市、川崎市を除く）の結果を、神奈川県検証改善委員会が分析し、神奈川の子どもたちの学びをより確かなものとするための提言をまとめました。

子どもたちの「学ぶ力」を育てるため、学校教育ではどのような工夫・改善が求められるのか、そして、子どもたちの「学ぶ力」の基礎を育てるには、規範意識や基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化がいかに大切であるかなどが、改めて確認されました。

そこで、子どもたちの「学ぶ力」を育てるために、是非、家庭のご協力をお願いいたします。

提言1 望ましい生活習慣を身に付けることが大切



- ◎「早寝、早起き、朝ごはん」に努めよう
- ◎あいさつを身に付けよう
「おはよう」「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」
- ◎人の話をしっかり聞く態度を身に付けよう
- ◎健康増進、体力向上に努めよう

提言2

規範意識を育てることが大切

- ◎きまりを守ることの大切さを考えよう
- ◎様々な経験・体験を通して、自然や社会のことを学ぼう
- ◎人と人とのつながりの大切さを考えよう



- ◎学校が楽しいと思える
- ◎授業が分かり学習に積極的に取り組んでいる
- ◎できないことができるようになる
- ◎友達と協力して物事に取り組める など

こういう姿勢をもてる子どもを大切にしましょう！

提言3

家庭学習を習慣付けることが大切

- ◎自分で勉強する時間・内容を決めよう
- ◎予習・復習をしよう
- ◎テレビやゲームをする時間などのルールを家の人と相談しよう

知（確かな学力）
徳（豊かな心）
体（健康・体力づくり）
バランスが大切です



家庭へのワンポイントアドバイス

望ましい生活習慣 ワンポイントアドバイス

- ☆時間の使い方を考え、リズムを大切に生活しよう!
- ☆食生活についてしっかり考えよう!
- ☆家族の会話を大切にしよう!

本県の現状

「小学校では、テレビやゲームの時間などのルールを決めて実行している児童ほど、学力が高い傾向があります。」
 「中学校では、朝食を毎日食べている生徒の割合が全国に比べて小さく、起きる時間が不規則で、起床時間が遅めの傾向があります。また、授業中の私語が少なく落ち着いている学校ほど学力調査の結果が高い傾向があります。」

学校での取組

- ☆望ましい生活習慣がしっかり身に付くよう指導していきます。
- ※家庭との連携・協力を積極的に図っていきます。
- ☆「先生や友達が話をしているときは、しっかり聞く」といったことや礼儀の大切さについて指導していきます。

規範意識 ワンポイントアドバイス

- ☆T(時)P(場合)O(目的)を考えて
- ☆言葉(言葉遣い)を大切にしよう!
- ☆相手の立場(気持ち)を考えよう!
- ※大人が手本を示しましょう

本県の現状

「小学校では、学校のきまりを守っている児童数の割合、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている児童数の割合が全国に比べて小さい傾向があります。」

学校での取組

- ☆きまりを守っているかどうかだけでなく、きまりはなぜ必要なのか、どのようにしたら楽しく安全に生活できるかなどを考えさせる指導を大切にします。
- ☆学校・学年行事における体験活動や道徳教育を中心として、教育活動全般を通して規範意識を育てていきます。

家庭学習 ワンポイントアドバイス

- ☆継続は力なり
一日、一週間、一ヶ月と確実に続けられる計画を立てよう!
- ☆小さな疑問を大切に、自分で調べたり、考えたりしよう!

本県の現状

『自分で計画を立てて勉強しているかどうか』『家庭での勉強時間はどのくらいか』においては、小学校と中学校の両方において『全くしない』児童・生徒の数の割合が、全国に比べて大きい傾向にあります。

また、全国に比べて習い事等に通っている児童・生徒が多く、教員が宿題をあまり多く出さない傾向にあります。」

学校での取組

- ☆実生活との関連を図る指導を大切にします。
- ☆読書活動を積極的に推進します。
- ☆「なぜか」という問いを大切に授業を心がけます。
- ☆予習・復習が大切なので、家庭での学習についても家庭と連携して進めます。

神奈川県検証改善委員会からの提言 ●

●教科で大切にしたいこと

《国語》

- 生活に生きる言語の能力を支える観点を大切にする
- 「話す・聞く」学習を通して、自ら「発信できる」子どもをはぐくむ
- 「書く」学習を通して、自ら「考えて表現できる」子どもをはぐくむ
- 「読む」学習を通して、「論理的に考える」子どもをはぐくむ
- 表現や理解の基礎として、言葉や文字の学習を大切にする
- 自ら情報を活用し、発信できる子どもをはぐくむ

《算数・数学》

- 形式的な知識ではなく、知識を獲得するプロセスを大切にする
- 進みながら戻ること、基礎・基本の繰り返し学習を行う
- 学び合いの質を高める工夫を大切にする
- 実生活と関連を図った指導で、考える力に焦点を当てる